AIを利用した モビリティ評価シナリオ生成

2024/5/29

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
プラットフォーム開発部
河辺 泰貴

TTDC

TTDC

開発惑星

TTDC

- 自己紹介
- 会社説明
- AIプロジェクト紹介
- デジタル開発センター

名前：河辺 泰貴

所属：プラットフォーム開発部 デジタルツイン開発室

業務：自動運転評価 環境の開発

趣味：アニメ鑑賞 クレーンゲーム

会社説明

TOYOTA TECHNICAL DEVELOPMENT CORPORATION

会社名 | トヨタテクニカルディベロップメント株式会社(略称：TTDC)

本社所在地 | 愛知県豊田市

出資比率 | トヨタ自動車100%出資

従業員数 | 1,020名(計測 674名 知財 229名) 2024/4/1時点

事業内容 |
・ 知的財産事業(特許)
・ **計測シミュレーション事業**

会社説明 - 計測シミュレーション事業 取り組み概要 -

TOYOTA TECHNICAL DEVELOPMENT CORPORATION

◆自動運転AI開発へのバーチャルテストの活用

自動運転性能の向上 & 評価の複雑化

バーチャルテストの評価項目を網羅的に作成するのは困難

◆データドリブン※による効率的なバーチャルシーン生成

※データに基づいて判断
アクションすること

収集されたシーンを基にシーンを構築

しかし...

自動運転車の走行試験結果

事業者	国	総走行距離 (1000km)	自動運転が解除されることなく 走行した距離(1000km)	
1	Waymo	USA	1,006.1	47.9
2	Cruise	USA	1,232.1	45.6
3	AutoX	CHN	3,000.0	32.6
4	Pony.AI	CHN	3,000.0	17.2
5	Argo.AI	USA	3,000.0	16.8
6	WeRide	CHN	3,000.0	10.4
7	DiDi	CHN	3,000.0	8.3
8	Nuro	USA	3,000.0	8.1
9	Deeproute.AI	CHN	3,000.0	5.3
10	Zoox	USA	3,000.0	2.6
25	Toyota	JPN	4.6	0.004

日本は海外と比べて
走行データ量が非常に少ないため評価には不十分

出展：BBT大学院 自動運転成績ランキングで見る米国、中国企業の拮抗

◆ビッグデータ（ドライブレコーダ）を活用

通信型ドラレコ 100万台※

× 年間1万km × 0.1% = 1000万km

交通事故シーンなどの走行データをクラウドにアップロード

10倍

海外走行
データ

ドライブレコーダーの映像を活用できれば十分なデータ量を確保可能
※特に交通事故シーンの網羅率UP

※東海海上日動 https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/230313_01.pdf

◆開発内容

低品質な走行データからリアルな走行軌跡をバーチャル化する技術の開発

リアル

バーチャル (PC)

◆技術課題

自車の走行軌跡：GPS

他車の走行軌跡：距離が分かれば再現可能

課題：他車の距離が不明

ドライブレコーダデータ

AIプロジェクト紹介 - ドラレコバーチャル化技術 -

TOYOTA TECHNICAL DEVELOPMENT CORPORATION

撮影

データ変換

物体検出

距離推定

走行映像

走行画像
付加情報
(GPS/速度/加速度)

物体追跡
トラッキング

連続性検出

走行軌跡生成

OpenSCENARIO
(.xosc)

※乗用車のみシナリオ化した例

OpenSCENARIO : バーチャルテストドライブのシミュレーションで使用するシナリオの動的コンテンツを記述するオープン規格

AIプロジェクト紹介 - 物体 / 距離推定AI -

TOYOTA TECHNICAL DEVELOPMENT CORPORATION

課題：他車の距離が不明

- ・ 物体検出 (DETR※1)
Bounding Box と呼ばれる物体を囲んだ部分領域を検出
他車の位置(座標)と数を把握
 - ・ 深度推定 (GLP-Depth※2)
各ピクセルまでの距離を算出
 - ・ 距離推定 (LSTM※3)
物体検出と深度推定の結果を基に各物体までの距離を推定
- ➡ 物体追跡を行い同一物体に同IDを付与
- ➡ 推定距離を基に走行軌跡を計算

※1 End-to-End Object Detection with Transformers ※2 Global-Local Path Networks for Monocular Depth Estimation ※3 Long Short Term Memory

◆バーチャル化結果

TTDC OpenXViewer

ドラレコ映像

バーチャル映像

SIM Third Person View

※乗用車のみシナリオ化した例

様々な方向から自動運転AIの安心 安全を担保

多様なシミュレーションツールを駆使した環境で、 モビリティの制御開発が体感できる場所

レイアウト

ドライビングシミュレーター

疑似体験空間

興味のある方はこちらにご連絡ください。

経営企画部 「デジタル開発センター」 窓口 E-mail : digi-c@ml.toyota-td.jp

まだ知らない自動車業界の仕事がここに
1dayで学ぶ**知財**と**計測シミュレーション**の魅力

「知的財産」と「計測シミュレーション」の2つの領域で
開発を守り、加速させるTTDCとは。

クルマの在り方そのものが変わり、世の中の仕組みも
変わっていく。「正解が何か」なんて誰にも分からない。でも、
誰かが先頭を行かなければ**未来**はやってこない

業界トップレベルの技術を体感せよ！

⇓ 両方に参加してもOK! ⇓

★★★★ 知的財産 ★★★★★

内容 (2時間)

- ・「強い特許」の真髄に触れよう！
- ・一流特許技術者との座談会

こんな方にオススメ！

- ・開発以外の理系の知識を活かせる仕事を知りたい！
- ・世界初・業界初の最新技術にワクワクしたい！
- ・業界トップの技術調査・特許スキルを身に付けたい！

#特許出願(外国) #特許調査解析
#コンサルティング #シンクタンク #理系の素養
#論理的思考力 #知的的好奇心

★★★★ 計測シミュレーション ★★★★★

内容 (3時間)

- ・実際のプロジェクトを体感しよう！
- ・技術の最前線で活躍している社員との座談会

こんな方にオススメ！

- ・業界トップのシミュレーション技術に関わりたい！
- ・システム・アプリ開発で技術課題に挑戦し成長したい！
- ・AI・クラウドなどを使った**データ解析**に興味がある！

#モデルベース開発(MBD) #自動運転 #プログラミング
#データサイエンス #組込み #電気 #メカ #シミュレーション
#シミュレーション #計測 #解析 #AI #制御

▼時期 6月から開催予定

▼場所 オンライン(Zoom)

↓詳細はこちらから↓
下記QRコードを読み取り、
当社LINE公式アカウントへご登録ください！
初回アンケート回答後、詳細
や申込をいただけます。

体感 実証 学ぶ

モビリティの制御開発に必要なシミュレーション環境を構築、
すぐに、一緒に、共創し、タイムリーに支援・創出・サービスを提供します

お客様の課題

シミュレーション環境を駆使し、制御開発を加速させたい

開発環境の導入の壁

- 導入検討工数の抽出
- 費用対効果の予測
- 必要な環境の調査
- 設備投資の増加

活用・定着の壁

- 精度の高いモデルの準備
- 様々なツールを駆使
- メンバのスキル強化
- 期待した効果の獲得

更なる効率化の壁

- 自動化による更なる効率化
- 評価環境をVMXNごとに標準化
- 新たな評価手法の導入
- 評価増加による、設備の増強

デジタル開発センターの提供価値

直ぐにトライ

開発環境

- 自社での設備導入なしで、開発が進みます
- 新手法検討等、一緒に共創し、早くトライ
- リモート、遠隔でのCo-Simulation

開発プロセス全体を最適化したサポート

エンジニアリング

- あらゆる商品や評価をつなぎ、全体最適な環境をインテグレートします
- プロセスの徹底的な自動化・効率化
- 評価環境の導入から活用・定着化、トレーニング

お客様に代わって 評価・解析

テスト

- 開発工程に応じた最適な評価と様々な結果を提供します
- ECU、制御ソフトを伴った評価
- ご要望に合わせたテストシナリオ、解析、レポート

トヨタテクニカル開発センター株式会社
TOYOTA TECHNICAL DEVELOPMENT CORPORATION

企業展示会場 **73**番にて デジタル開発センター詳細 & インターンシップ 情報を展示

ご清聴ありがとうございました

TOYOTA TECHNICAL DEVELOPMENT CORPORATION

あなたの開発に寄り添うベストパートナー

私たちはお客様の技術開発の最適化を実現します